

国立がん研究センター研究開発費による中間・事後評価に関する評価方法

課題評価について

1. <利益相反>

下記の利益相反について有無を記入し、有とした場合には評価を行わない。

- ① 親族関係又はそれと同等の親密な個人関係
- ② 緊密な共同研究を行う関係（共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバーで緊密な関係にある者等）
- ③ 同一研究単位での所属関係（同一研究機関の研究者等）
- ④ 密接な師弟関係又は直接的な雇用関係
- ⑤ 研究課題の採否が審査委員の直接的な利益につながると見なされるおそれのある対立的な関係又は競争関係
- ⑥ その他、私個人が利害関係と判断する関係

2. <倫理性>

- ・ 「問題なし」/「要注意」/「問題あり」の三段階で判定し、「問題あり」とした場合は評価内容を記載する。

3. <研究テーマに対する評価>

- ・ 研究の重要性及び妥当性（学術的、国際的又は社会的な重要性、運営費交付金を用いた研究開発としての妥当性など）を三段階で評価する。
- ・ 「3」を標準とし、「2」または「1」とした場合は評価内容を記載する。

4. <研究成果に対する評価>

- ・ 「研究内容」と「達成度」のそれぞれを五段階で評価し、その合計点を評価結果とする。
- ・ 「5」を最高、「3」を標準とし、「2」または「1」とした場合は評価内容を記載する。
- ・ 「研究内容」は研究の独創性及び革新性（斬新な発想、革新性の高い成果など）、研究の独自性（他の研究機関や研究費では実施が難しい研究など）、研究の波及効果及び将来への発展性（知の創出、実用化、標準化、基盤整備など）を評価する。
- ・ 「達成度」は研究の効率性（研究計画の達成度、研究の計画・方法の妥当性と効率性など）、研究遂行能力及び研究環境の適切性（分担研究者の役割分担と実施・責任体制など）、研究者の意欲（高目標に挑む姿勢など）を評価する。
- ・ 当該研究年度の研究成果に対する総評を記載する。
- ・ 終了年次課題については、最終総評総括を記載する。

分野総合評価について

- ・ 評価分野全体に対するご意見（総評）を記載する。
- ・ 分野総合評価はセンター公式サイトにおいて公開する。